

「キーワードは理解」

愛知県小牧市大字岩崎二五八八番地

0568-75-2081

岩崎中学校三年

平手優子

私の住む愛知県は、外国人登録者数が多い県です。私が通う学校にも様々な国籍を持つ人が毎日、私と同じように学校へ通っています。

学校には、外国籍を持つ人を主に学習面でサポートする教室があります。そこには私の友達も通いますが、ほとんどの時間を日本国籍を持つ私達と共に過ごします。それに、とても皆となじんでいるように見えます。

しかし、私がある外国籍の友達と話していた時、友達に驚くことを言いました。

「私も日本人のようになりたい。でも、皆と同じようにはできないんだ」。

私はこれを聞いて、一見皆と同じように過ごしていると見えても、実は皆になじみきれない一面があることを知り、やっぱり大変なんだな。と思いました。返す言葉がなかなか見つからず、困惑しました。友達に言えたのは、私が外国で暮らしても、同じように考えるかもしれないね。

これだけしか返事ができませんでした。  
私はこの時、友達に対する理解が今まで不  
十分だったことに気が付きました。

なぜ十分に理解できなかったのか。  
どうしたら理解を深められるだろうか。

この「理解」というワードは異なる文化を  
持つ人々と分かち合って生活していくための  
最大の鍵に違いありません。

そもそも、隔たりを生む原因は「自分は日  
本人だ」とか「外国人だ」といった無意識の

うちに心の中に生じる意識があるからではな  
いでしょうか。

でも、そんな意識など捨ててしまえばいい  
のです。

なぜなら、国籍や出身地など、細かなこと  
の前に、大前提としてみんな地球に住む人間  
であることは決して変わることはない事実な  
のです。

だから日本人と外国人の違いも同じ人間な  
のだから、人の顔が個性豊かなように、人に

それぞれ、の性格があり個性があるのと同じように、「違い」ではなく一人ひとりの「個性」だと考えれば、日本人も外国人も同じです。そして、私達が国籍など関係なしに分かち合うためには、先ほどの人間一人ひとりの個性を互いに認め合うと同時に、尊重することが大切だと思います。

日本で外国人が暮らすにあたって、ただ、移住した外国人が日本の文化や生活習慣に合わせるだけでは文化の一方通行になつてしまいます。それに、日本人は合わせてもらうだけだから楽ですが、移住してきた側からすれば、大変な負担になります。

だから、私達も相手の国の文化を学んで、日本の文化を伝えることで互いの文化を学び理解する文化の双方行の交流を進めていくべきです。そうすれば外国人は日本になじみやすくなり、日本人も外国の文化を受け入れやすい社会になると思います。

そして外国人と日本人の交流が盛んになれば

ば、双方にとって暮らしやすい社会になるで  
しょう。

今日の「多文化共生社会で鍵となるのは、  
「人を思いやり、助け合おう」という気持ち  
だと思っています。

人を思いやり、助け合うことに国境はあり  
ません。だから、誰もがこの気持ちを持って  
いれば、国に関係なく互いを理解できる。そ  
して良い仲間にもなれる。

私はそう信じています。